

「新潟県がん対策推進計画」

（概要版）

1 策定の趣旨

- (1) 新潟県においては、がんが昭和57年から死因の第1位であり、県民の生命や健康の重大な脅威となっていることから、がん患者を含む県民の視点に立ったがん対策を総合的に推進するため策定するもの。
- (2) がん対策基本法第11条第1項に規定する「都道府県がん対策推進計画」に位置づける。
- (3) 計画期間は、平成20年度から平成24年度まで(5年間)とする。

2 がんを取り巻く現状

死亡・罹患	<p>昭和57年以降死因の第1位で、ほぼ一貫し増加傾向にある。</p> <p>人口10万対死亡率(H18)は302.2(全国261.0)で全国11位</p> <p>死亡(多い順) 肺、胃、大腸</p> <p>罹患(多い順) 男性: 胃、大腸、肺 女性: 大腸、胃、乳房</p> <p>75歳未満のがん年齢調整死亡率(人口10万対)は、減少傾向</p> <p>104.8(H7)から92.1(H17)へ12.7ポイント減少している。</p>
予防	<p>(H16とH10との比較)</p> <p>[たばこ] 喫煙者割合は、男性は減少、女性は増加している。</p> <p>[栄養・食生活・運動]</p> <p>1日あたりの食塩摂取量は減少しているものの、野菜摂取量が減少し、脂肪エネルギー比率が増加している。</p> <p>1日あたりの平均歩数と運動習慣のある人の割合は増加している。</p> <p>[検診受診率] 乳がん検診では増加しているが、それ以外のがん(肺・胃・大腸・子宮)の検診では横ばい又はやや減少傾向が見られる。</p>
医療体制	<p>県がん診療連携拠点病院: 県立がんセンター新潟病院</p> <p>地域がん診療連携拠点病院: 4圏域の7病院</p> <p>県立新発田病院、新潟大学医歯学総合病院、新潟市民病院、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、県立中央病院、新潟労災病院</p>

(4ページへ続く)